

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
アントレプレナーシップ	3	後期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(すずき ひろと) 鈴木 博人	授業の初回時に連絡、説明します。			

(英文科目名 Entrepreneurship)

授業の概要

成功した起業家の事例をもとに、事業を立ち上げ、成長させる条件を考える。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス・マネジメントコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。この科目は主に「ベンチャー企業」の経営を対象にします。ベンチャー企業とは、「急成長志向の若い中小企業」を指しますが、世界的に経営環境が激変している現在、ベンチャーの経営手法は既存の大企業や中小企業にも必要になりつつあります。したがって、講義の際は企業の規模や歴史にこだわらず、経営革新や新事業開発の事例を幅広く取り上げます。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	アントレプレナーシップの必要性を理解し、ベンチャー企業の特長、起業に必要な知識を得る。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	起業に必要で応用可能な手法を理解する。日本、米国、中国などの代表的起業家を深く理解し、世界の経済変動を具体的かつ正確に説明できるようにする。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	成功している先端起業家に興味を持つことによって、変化を好み、それに前向きに取り組める思考・行動様式を身につける。
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。	◎	自らビジネスプラン(事業計画書)を作成することを通して、ビジネス発案・展開の面白さ、難しさを実感し、実社会への対応力を育む。

授業の方法・講義手法の概要

授業の方法・講義手法の概要 ベンチャーの経営手法は、すべての起業家に共通のものは少なく、起業家それぞれに固有のものと考えべきです。したがって、この講義では、できるだけ多くの起業家を扱い、それぞれ特徴ある経営哲学、経営理念、経営手法を浮き彫りにして、事業の取り組み方を勉強します。具体例は筆者が新聞、雑誌編集などで取材した経営者の中から厳選して紹介するとともに、内外の著名起業家を題材にした書籍を読んでもらいます。

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	起業家精神とは何か	事前学修:「アントレプレナー」の意味

		をネットなどで調べる(90分) 事後学修:創業に際してなぜ起業家精神が不可欠なのか理解する(90分)
2	起業家の誕生(起業家はどのようにして生まれるのか)、起業家の資質	事前学修:プリントで代表的起業家の人物像を学ぶ(90分) 事後学修:著名な起業家の経歴の確認(90分)
3	ベンチャー企業の実態	事前学修:プリントでベンチャー企業の特徴を理解(90分) 事後学修:ベンチャー企業の事業分野、主力分野の変遷の理解(90分)
4	起業立地	事前学修:プリントでシリコンバレーの位置、歴史などを学ぶ(90分) 事後学修:シリコンバレーを中心に、ベンチャーの企業立地の条件を確認(90分)
5	ベンチャー企業とリスク	事前学修:プリントでベンチャー特有のリスクを理解(90分) 事後学修:ハイリスク・ハイリターンからローリスク・ローリターンまで事業による違いを理解(90分)
6	「事業計画」の作成	事前学修:プリントで事業計画の意味を理解(90分) 事後学修:自分の事業計画作成の準備(90分)
7	日本の代表的起業家Ⅰ(高度成長期までの起業家)	事前学修:プリントで戦前期から高度成長前までの起業家を確認(90分) 事後学修:松下幸之助、本田宗一郎、井深大氏などの事績を確認する(90分)
8	日本の代表的起業家Ⅱ(現代の起業家)	事前学修:高度成長期以降の起業家を確認(90分) 事後学修:孫正義、志太勤、澤田秀雄氏などの事績を確認(90分)
9	海外の代表的起業家	事前学修:米国、中国などの起業家をプリントで確認(90分) 事後学修:ビル・ゲイツ、イーロン・マスク、馬雲などの経歴の確認(90分)
10	ベンチャー企業の成長プロセスⅠ	事前学修:プリントで創業前後の経営を理解(90分) 事後学修:シード期、スタートアップ期に経営のポイントを確認(90分)
11	ベンチャー企業の成長プロセスⅡ	事前学修:プリントで経営が軌道に乗って以降のポイントを理解(90分) 事後学修:急成長期、安定成長期のベンチャー経営の要点を確認(90分)
12	ベンチャー企業の資金調達	事前学修:資金調達の種類を理解(90分)

		分) 事後学修:各調達法の優劣を判断し、自分の事業計画との整合性を考える(90分)
13	ベンチャー企業支援Ⅰ(公的支援、資金支援)	事前学修:ベンチャー支援の手法をプリントで理解(90分) 事後学修:公的支援が難航する原因の理解(90分)
14	ベンチャー企業支援Ⅱ(資金以外の支援)	事前学修:ハンズオン支援の内容の理解(90分) 事後学修:支援人材の必要性や不足の実情を理解(90分)
15	総括	事前学修:14回のプリントを精読(90分) 事後学修:各プリントのポイントを確認(90分)

成績評価の方法・基準

期末試験(70%)、レポートの内容(20%)、平常点およびコメント表の内容(10%)。

指定教科書

教科書は使いません。

参考文献等

適時、指示しますが、現段階では、松田修一『ベンチャー企業 第4版』日本経済新聞出版社 2014年、スコット・ギャロウェイ『GAFAGA』東洋経済新報社 2018年、李智慧『チャイナ・イノベーション』日経BP社 2018年などが参考になります。

履修上の留意点

著名な創業経営者の著書、伝記などを読むと、理解度が格段に高まります。ほとんど図書館にあるので、読んでください。

実務経験